

- ・応用物理学会放射線分科会医療放射線技術研究会
- ・多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン
（首都大学東京大学院人間健康科学研究科量子イメージング技術者養成コース）
- ・首都大学東京大学院人間健康科学研究科放射線科学域医学物理士コース

共催

医療放射線技術研究会
「様々な時間的・空間的スケールの放射線計測技術」

概要

医療放射線の研究分野では細胞応答を調べる放射線生物研究から患者体内の線量分布測定、医療施設の空間線量分布把握まで、その目的に応じて様々な空間的スケールに対して放射線測定を行う必要があります。これらの測定では、放射線治療中の体内臓器の挙動や PET 薬剤の体内動態など瞬間的な状態を把握するための放射線イメージング技術から腫瘍組織への積算線量値の測定技術まで様々な時間的スケールの計測技術が求められます。そこで、本研究会のテーマを「様々な時間的・空間的スケールの放射線計測技術」としまして、医療分野の研究において様々な時間的・空間的スケールの放射線計測技術の開発を行っている専門の先生方に研究の現状や利用状況、応用研究などについてご講演いただきます。

医療放射線技術研究会は放射線物理の医療応用について情報交換することを目的としています。臨床現場に携わる医師・診療放射線技師・医学物理士から計測技術の医療応用を目指している研究者まで広くご参加をお待ちしています。また、本研究会は首都大学東京「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン*との共催であり、本シンポジウムが専門医療人の人材育成の一助となることも期待しております。

参加希望の方につきましては、末尾のフォームを記入の上【12月31日まで】に放医研・古場（koba.yusuke@qst.go.jp）までご連絡ください。

開催日：令和2年1月11日（土）

場所：首都大学東京荒川キャンパス 大視聴覚室

参加費：無料（懇親会は会費4,000円予定、当日現金を集めます）

定員：100名程度

備考：医学物理士認定機構の業績評価点の対象（コードF1,F2単位数3）として
出席証明書を発行いたします。（現在、申請中）

世話人：量研機構 古場裕介、山谷泰賀 北里大学 村石浩 近畿大学 若林源一郎
首都大学東京 眞正浄光、井上一雅 帝京大学 牧永綾乃

*多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン連携大学
首都大学東京、東京大学、横浜市立大学、東邦大学、自治医科大学、北里大学

【参加申込フォーム】

氏名：

所属：

懇親会：参加・不参加（どちらか選択ください）

医療放射線技術研究会「様々な時間的・空間的スケールの量子線計測技術」

プログラム

- 13:00－13:25 受付
- 13:25－13:30 開会の辞 柳田 健之（奈良先端科学技術大学院大学）
- 13:30－14:15 リアルタイム体内中線量可視化画像誘導陽子線治療の研究
（講演 40 分+質疑 5 分）
講師：西尾 禎治（東京女子医科大学）
- 14:15－15:00 RI ビームの生体内ウォッシュアウト効果の計測研究
（講演 40 分+質疑 5 分）
講師：寅松 千枝（東京女子医科大学）
- 15:00－15:45 マイクロビーム照射技術を活用したシングルセルバイオロジーへの展開
（講演 40 分+質疑 5 分）
講師：小西 輝昭（量子科学技術研究開発機構）
- 15:45－15:55 休憩（10 分）
- 15:55－16:40 ゲル線量計を用いた医療放射線の線量分布測定研究
（講演 40 分+質疑 5 分）
講師：前山 拓哉（北里大学）
- 16:40－17:25 高感度 γ 線コンプトンカメラ技術で探る医用放射線物理学
（講演 40 分 質疑 5 分）
講師：村石 浩（北里大学）
- 17:25－17:30 閉会の辞 眞正 浄光（首都大学東京）
- 18:00－ 懇親会